

熱合金の熱疲労特性を調査するため上記補助金を申請することになった。

4) 昭和47年度予算

鉄鋼基礎共同研究会

溶鋼溶滓部会運営委員会 開催日: 2月26日. 出席者: 斎藤部会長, 他 10 名.

溶鋼溶滓部会は昭和41年に設置され, 科学技術庁の科学技術研究委託費並びに日本鉄鋼協会特別研究費により溶鉄・溶滓の高温における物性値の測定方法の検討並びに実測を行なってきた. 溶鋼溶滓部会では一応の目的を達成したので昭和46年度をもつて終了することとなり, 溶鋼溶滓部会の活動報告書作成要領ならびに今後の同グループの活動方向等について討議を行なった.

溶鉄溶滓の物性に関するシンポジウム

開催日: 1月29日. 出席者: 斎藤部会長, 他 53 名.

溶鋼溶滓部会の各分科会における昭和46年度の研究成果を中心に上記シンポジウムを本郷学士会館で行なった. 発表論文は下記の通りである.

- 1) 溶融金属の混合熱の測定研究..... 1 件

- 2) 溶融金属およびスラグの密度および粘性の測定研究..... 3 件
 - 3) 溶鉄中への酸素, 窒素, 炭素の拡散係数の測定研究..... 3 件
 - 4) 溶滓および溶鋼と共存する溶滓の蒸気圧の測定研究..... 2 件
 - 5) 溶融鉄合金およびスラグの表面張力の測定研究..... 3 件
 - 6) その他..... 2 件
- なおシンポジウム資料はまだ若干の在庫がございます.

遅れ破壊部会 開催日: 4月26日. 出席者: 藤田部会長, 他 11 名.

以下の研究発表が行なわれた.

- i) 鉄単結晶中の水素による Misorientation の発生
山口大 蒲地 一義
- ii) The Diffusivity of Hydrogen and its Effect on the Embrittlement of Steel
大阪大 落合慎一郎

その他に, 47年秋に開催予定のシンポジウムの講演者その他を決めた.

UNIDO より新技術, 新設備に関する情報提供依頼のお知らせ

UNIDO (国際連合工業開発機構) より標記について依頼がありましたので, ここに紹介します.

この計画の詳細についての問合せ並に申込みは次にご連絡下さい.

Mr. B. Crowston

Metallurgical Industries Section, Industrial Technology Division, UNIDO

P. O. Box 707, A-1011, Vienna, Austria

UNIDO は後進国の工業開発を援助するため, 新技術や新設備の特許料, 導入費用, ノウハウなどその技術や設備を企業化するための資本金, 運転資金等まで含めた情報を後進諸国に紹介する計画をたてています.

とりあえず, 1972 年 8 月からラテンアメリカ諸国の金属加工業を対称として始める予定であります.

ここでいう金属加工は次のように非常に広範囲な分野にまたがっています.

Cold working, Hot working, Electromagnetic forming, Explosive forming, Forging, Sheet metal forming, Extrusion wire drawing, Casting, Powder metallurgy, Fibre metallurgy, Heat treatment, Vacuum metallurgy, Stranding, Rolling, Spinning, Tube making, Welding, Joining, Coating, Finishing.

新技術, 新設備を開発している会社は, 是非それらに関する情報を UNIDO に寄せられるよう希望します.

正 誤 表

掲 載 号	頁	誤	正
鉄と鋼第58年第7号	852 ページ 3~4 行目	下部一部降伏応力	下部降伏応力
〃	852 ページ 6 行目	ひずみ速度応力	ひずみ速度